

たこと、この場をお借りし厚く御礼申し上げます。五年の間に脱炭素の機運の高まり、その後の脱・脱炭素への揺り戻し、ウクライナ、中東をはじめとした紛争、政情不安、分断、トランプニ・〇とそれに対する期待と混乱など、実に様々かつ大きな変化が生まれ、非常に不確実性が高まり従来の価値観や規範がチャレンジされる状況に直面していることを痛感しております。

コロナ禍の最中には商工会の会員数も大きく減少しましたが、コロナの終息、従来のエネルギー産業に加え他分野でのヒューストンのプレゼンスの高まりなどを背景に、日本企業の駐在員の数も大幅に増加し、三月末時点で総会員数は千人を超え過去最高のレベルとなっております。今後もヒューストン並びにテキサスの米国経済におけるプレゼンスは高まってくれと思われ、商工会の果たすべき役割も増々大きくなっていくものと存じます。

会長職の任期中に後任の弊社 遠藤にバトンを渡すのは非常に心苦しい思いで一杯ではありますが、これまでと同様、皆さまの御指導・御支援の程、何卒宜しく御願ひ申し上げます。最後に、皆様の更なるご健勝をお祈り申し上げ、離任のご挨拶とさせていただきます。本当にありがとうございます。



川上 篤樹

ヒューストン日本商工会会長
Sumitomo Corporation of Americas

この度、日本への帰任に伴い、三月末を以て商工会会長職を離任致しました。二〇二一年二月に三度目のヒューストン駐在として着任し、はや五年、今駐在期間中に会長職を二度引き受けさせて頂きました。在任期間中は会員並びに関係者の皆さまより多大なるご支援・ご厚誼を賜りました。

会長退任挨拶

令和8年度（2025-2026）3月 商工会常任委員会議事録

日時：2026年3月18日(水) 12:00-13:50

会場：三水会センター会議室

出席者：17名

(うち名誉会員1名、理事委員11名、代理3名、オブザーバー1名、事務局長1名)

欠席者：5名

(うち会長委任4名、代理委任1名)

司会：東 遼佑 幹事

※議事録については、別途HP掲載後にご確認ください

テキサス流のおもてなしに学ぶ当社の取り組み

Kaneka Americas Holding, Inc. 七條 勝利

長らく欧州での勤務を経験した後、日本に戻り、昨年当地に赴任してきて、私がいま驚いたのは、こちらの皆さんの明るさと気さくさ、そして多様性を自然に受け入れる寛容さでした。亜熱帯の気候や「サザン・ホスピタリティ」と呼ばれる地域文化も影響しているのかもしれませんが、地域全体に温かい雰囲気が出てきていることを日々実感しています。

なかでも印象的だったのは、ボランティア活動や慈善活動に対する皆さんの関心の高さです。社会に貢献することを前向きに捉え、無理なく自然体で参加されている姿に触れ、私自身も多くの学びを得ています。こうした価値観は、企業として地域と向き合ううえでも大きな示唆を与えてくれます。

本稿では、そのような地域の温かい文化の中で、当地でオペレーションを開始して四十二年目を迎える当社が、これまで関わってきた社会貢献活動の一部をご紹介します。と考えております。長年にわたる取り組みを通じ、企業として何ができるのか、地域とどのように寄り添い続けていけるか、その一端をお伝えできれば幸いです。

まず、カネカ・ノースアメリカは、数十年にわたりテキサス州パサデナのビジネスコミュニティの一員として活動を続けてきました。当地で事業を営む企業として、地域の皆さまとともに歩み、課題や取り組みを共有する姿勢を大切にしてきました。

とりわけパサデナ商工会議所との関係は長く、同会議所とのパートナーシップは当社が地域と共に成長してきた歴史を象徴する存在となっています。商工会議所の活動を通じて、地域全体の経済発展や事業環境の改善に関するさまざまな議論や取り組みに参加してきました。

現在、当社の人事担当副社長であるスミス氏が商工会議所の理事会会長として活動しています。人材育成や組織開発に関する知見を活かし、地元企業や行政、教育機関などと連携しながら、地域がより良い方向に進むための取り組みを後押ししています。この役割は、かつて長年の社員であるグレースット氏が同会議所の会長を務めた時代から続く大切な流れであり、地域社会との協働を重視する当社の姿勢を象徴するものと受け止めております。



文化面では、パサデナ・ライブストック・ショー&ロデオとの関わりが特筆すべき活動です。これは地域の伝統や農業文化が色濃く残る大切な行事であり、当社は四十年以上にわたりこのイベントを支えてきました。イベントを支援するだけでなく、当社の社内チーム「カネカ・クッカーズ」がクックオフに参加し、来場者と交流しながら地域の雰囲気づくりに貢献しています。彼らの料理の腕前は高く評価されていますが、それ以上に、地域の人々と肩を並べて盛り上げる姿勢こそ、この活動の価値を象徴していると感じます。



環境保全の分野では、アーマンド・バイユー・ネイチャーセンター（A B N C）との協働が挙げられます。A B N Cは米国最大級の都市型自然保護区であり、パサデナからガルフコースト一帯に広がる湿地・草原・森林など、多様な生態系を守る重要な役割を担っています。当社は長年にわたる寄付を続けるとともに、従業員が評議会の理事として意思決定に関わるなど、単なる支援にとどまらず主体的な参加を行っています。また、従業員によるボランティア活動を通じて、洪水緩和に役立つ湿地の維持管理や、環境教育プログラムの運営などにも関わり、地域の自然を次世代に残す取り組みを支えています。



教育分野では、サンジャシント・カレッジとの協力関係を深めています。同大学の「YonellBasell石油化学・エネルギー・技術センター（C P E T）内には、当社が支援する非破壊検査（N D T）品質ラボが設置されており、学生が産業現場で求められる実践的な技術を学

べる環境を提供しています。こうした施設の支援に加え、毎年開催される中学生向けSTEMイベント「マインドトレッカーズ」への協力も当社にとって重要な活動です。当社の従業員がボランティアとして参加し、子どもたちに科学の魅力を体験してもらうことで、将来のキャリア形成に役立つきっかけづくりにも力を入れています。



これらの活動は、企業として何か特別なことをしているという姿勢ではなく、地域の一員として「できることに、できる形で取り組む」という考えのもと積み重ねてきたものです。今後も地域の皆さまと寄り添いながら、より良い地域づくりに貢献できるよう、継続して取り組んでまいりたいと考えております。

南部ならではの「誰に対しても温かく、気さくに接する」サザン・ホスピタリティの精神に触れながら暮らすうちに、私自身もその魅力を感じるようになりました。日本に一時帰国する際には、まわりの見ず知らずの方に、思わず「Howdy y'all!」と声をかけてしまわないよう気をつけたいところです。

あの熱狂が再び！！

場所・The Sportsplex at Shadow Creek Ranch

ソフトボール大会 4.26 (日)

昨年は21チームが参加し、大いに盛り上がった「商工会ソフトボール大会」。今年も開催が決定し、いよいよ大会当日が近づいてきました。

本大会は、性別や年齢を問わず幅広い世代が楽しめる地域交流イベントです。

参加チームの皆さまは、当日のスケジュールや注意事項をご確認のうえ、万全の準備でお越しください。観戦も自由ですので、地域の皆さまもぜひ会場に足を運び、選手たちへ温かい声援をお送りください。



ヒューストン
日本商工会

フォロー・いいね
よろしくお願ひします

Instagram

- ・三水会図書館
 - ・あそぼーかい
 - ・イベントなど
- 最新情報をこちらでお届けしています！



SANSUIKAI2025



新ルール

先月号では大会参加20チームをご紹介しましたが、本号では各チームが参加したキャプテン会議で決定された今大会のルールと、組合せ抽選結果によるトーナメント表を掲載します。相手チームの顔ぶれが決まったことで、これからますます練習に力が入り、大会当日は数々の熱戦が繰りひろげられることと思います。

本大会より、シニアの選手がより安全に楽しめるルールとすることを目的に、シニア選手の出塁した際に、ラストアウトの選手(当該シニア選手の直前にアウトになった選手)の代走を可とする新ルールが導入されます。今まで以上に柔軟なチーム体制・運用ができるようになった一方、審判やスコアラーの方の負担は増えることが想定されますので、各チームに於かれましては円滑な試合進行にご協力をお願い申し上げます。

試合時間

一試合は7イニング制、但し60分を超えた時点で新しいイニングには入りません。例えば、6回裏が終了した時点で試合開始から59分であれば7回表裏も実施、6回裏が終了した時点で試合開始から61分経過していればその時点で試合終了、といった具合です。1イニング毎の時間が延びると、4-5回程度で終了になることもあります。

選手選考

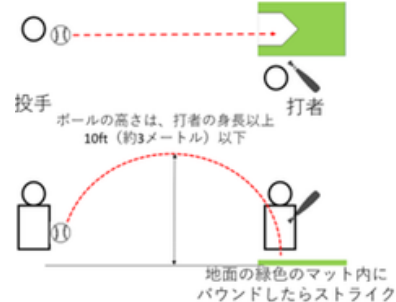
各チームは2名以上の女性・子供、及び2名以上の40歳以上の選手を常時出場させる必要があります。また、女性・子供が打つ時は外野手・ローバーがボールを触った時点でヒットとなり、ワンベースが与えられます(フライを含む)。女性・子供が打つ時にどのような守備隊形を取るのか、また、女性・子供にどのポジションを守るのか、がポイントになります。

打つ

女性・子供枠の選手を除き、各バッター1ボール1ストライクから開始するため、早いカウントでしっかり仕留める積極性、確実性が求められます。チームによって、相手の守備の薄いところを狙う容赦ない、テクニシヤンタイプ、のバッターもいるようです。ご注意ください。ソフトボールはボールが大きくて飛び辛い一方で、塁間が狭いので外野の頭を超えればランニングホームランになりやすいです。

投げる

本大会は初心者でも打ちやすいスローピッチのルールが採用されています。また、2ストライクから2回目のファウルはアウトになります。ピッチの場面でも落ち着いたピッチングができるかが試合のカギとなります。



走る

ランナーはバッターがボールを打ってからでないとベースを離れてはいけません(盗塁も禁止)。これにより、フォースアウト(走者が多くなる傾向にあり、守備の選手とランナーの交錯リスクを低減するため、ホームベースと一塁ベースは守備用とランナー用で分けてそれぞれ2つずつ設置されています。また、三本間の中間地点を超えた時点で三塁に戻ることはできず、その場合は意を決して本塁に突入する必要があります。)
(走)ランナーが次塁に達する前に、野手がボールを持ってランナー或いは次塁に触れてアウトにすること

守る

守備は10名。通常の9名に加えて、フレキシブルに配置可能な「ローバー」というポジションがあります。バッターが強打者の時は4人目の外野手として、内野ゴロのアウトが欲しい場面では二遊間を固める等、様々な戦略が考えられます。スローピッチの特性上、右打者はレフト方面、左打者はライト方面に強い打球を飛ばすことが多く、相手バッターや状況に合わせた守備位置変更にも注目です。

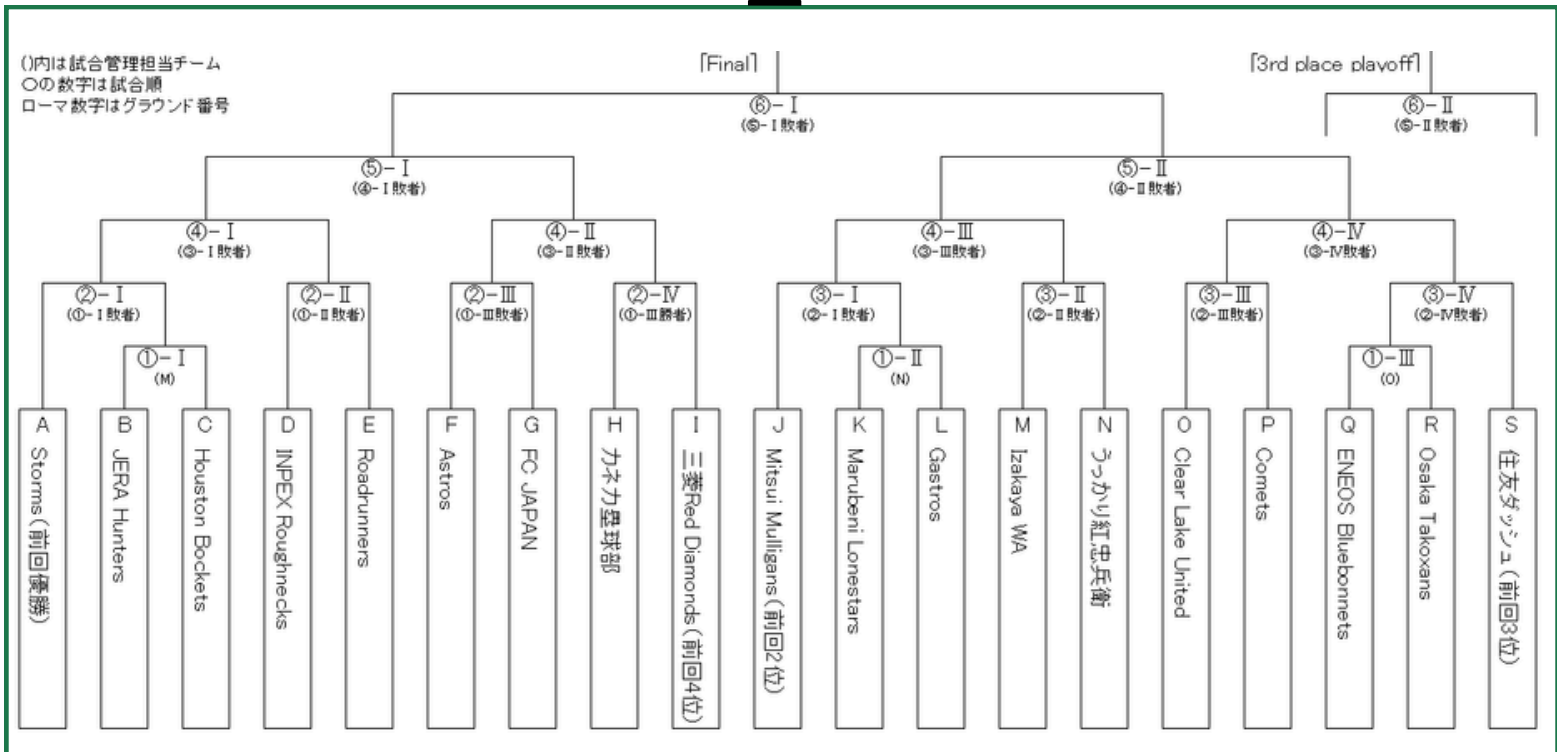
Softball 2026



SCHEDULE

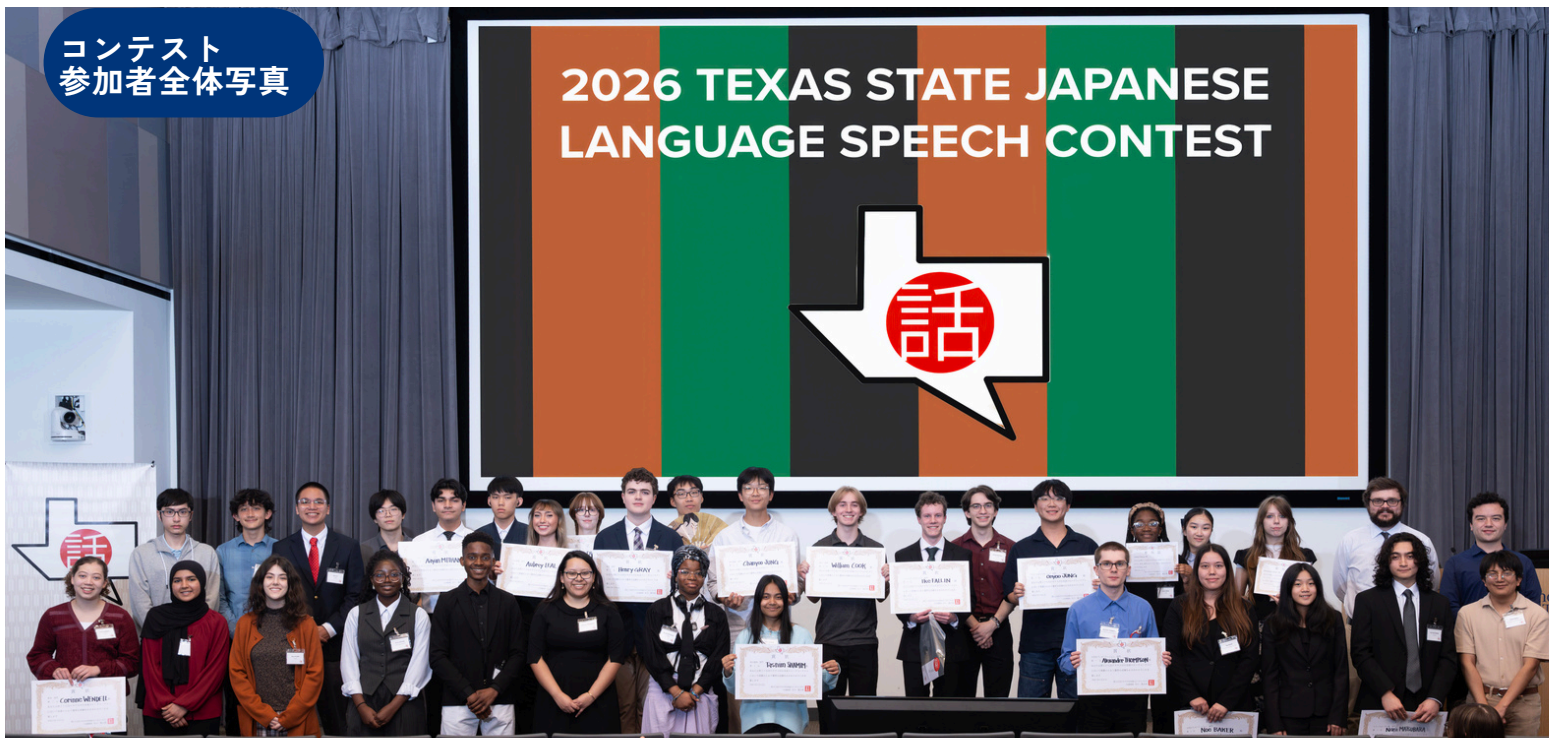
Time							
8:00		会場Open					
8:30 - 8:45		受付(キャプテンのみ。メンバー表配布、当日注意事項など)					
				Field I	Field II	Field III	Field IV
①	9:00 - 10:00	一回戦		B vs C	K vs L	Q vs R	
②	10:10 - 11:10	二回戦		A vs B/C	D vs E	F vs G	H vs I
③	11:20 - 12:20	二回戦		J vs K/L	M vs N	O vs P	Q/R vs S
④	12:30 - 13:30	準々決勝		Quarter	Quarter	Quarter	Quarter
⑤	13:40 - 14:40	準決勝		Semi	Semi		
⑥	14:50 - 15:50	決勝・3決		Final	Third Place		
16:10		表彰式					
16:30		会場Close					

TOURNAMENT



第37回テキサス州日本語スピーチコンテスト

コンテスト
参加者全体写真



「第三七回・二〇二六年 テキサス州日本語スピーチコンテスト」が三月七日、ライス大学ハズズペスホールにおいて開催されました。

本大会は、在ヒューストン日本国総領事館及びヒューストン日米協会の共催のもと、テキサス州各地区大会の上位入賞者等が一堂に会し、日本語による表現力とコミュニケーション能力を競い合うものです。本年のテーマ「歌舞伎」は、日本映画『国宝』の公開にちなみ、歌舞伎の表現様式に着想を得て、出場者がそれぞれの個性を生かし、自らを演出した発表に挑戦することを趣旨として設定されました。当日は、各地区大会を勝ち抜いた三一名に加え、オープン部門の参加者四名、計三五名が出場し、在ヒューストン日本国総領事館をはじめとする日本人団体関係者、審査員、ボランティア、来賓など多数の方々にご参加いただき、会場は盛況のうちに終始いたしました。

本大会における特筆すべき取組として、大学部門においてパワーポイントを活用したプレゼンテーション形式を導入したことが挙げられます。これにより、従来の暗記中心の発表から、意味内容の伝達を重視した実践的なコミュニケーション能力へと重点を移し、大学教育や学術発表、さらにはビジネスの場において求められる発表形式に即した形で、発話・構成・視覚資料を統合した総合的な表現力を養い、挑戦する機会を提供するものとなりました。

発表のトピックとしては、日本と米国の医療保険制度の比較や、Aーと人間の本質的な違い、さらにはウルトラセブンに関する考察など、多様で興味深いテーマが取り上げられ、視覚資料を効果的に活用することで、わかりやすく伝えられていました。



▲コンテストの様子(大学部門)

課題詩部門、俳句部門、高校スピーチ全米オーロラ大会選考部門では、参加者がそれぞれの日本語学習の成果を発表し、その努力を支えてきたご家族や先生方、友人とともに喜びを分かち合う温かな場となりました。

高校スピーチ全米オーロラ大会選考部門では、日本語学習を通じた異文化体験や自己の成長、多文化背景の中で得た気づきなどが多く語られ、日本語学習が若い世代の心の成長や思考の広がりにつながっていることが印象的でした。本大会は、競い合う場であると同時に、参加者同士が学び合い、交流を深めながら、テーマを共有する貴重な機会となりました。また、大会の成功は、ヒューストン各団体の皆様のご支援とボランティアの皆様の尽力によるものであり、心より感謝申し上げます。



▲休憩時間での日本文化体験(浮世絵版画)



▲コンテストの様子(課題詩部門)

授賞式では、関係団体代表のご臨席のもと、テキサス州日本語教師会より課題詩部門、グレーターヒューストン日本人会より高校スピーチ全米オーロラ大会選考部門、ヒューストン日米協会より俳句部門、ならびに大学部門およびオープン部門の上位入賞者に対し、賞状および賞金が授与されました。また、参加者全員に参加証書が授与されました。

関係各位のご支援と審査員の皆様のご協力に、改めて厚く御礼申し上げます。入賞者の皆様には、今後も日本語および日本文化の学習を継続し、日米両国の架け橋として文化交流と相互理解に寄与されることを心より期待いたします。また、入賞者のご家族の皆様ならびに日頃より日本語教育に尽力されている先生方のご努力に、深く敬意を表します。



▲審査員の佐藤領事

「大会模様と
入賞者はこちら」

佐藤裕子(ライス大学)
ヒューストン日米協会
スピーチコンテスト実行委員会

補習校卒園卒業式



ヒューストン日本語補習校では、三月十四日（土）、第五十四回幼稚部・小学部・中学部・高等部の卒園・卒業・修了証書授与式が厳かに挙行されました。当日は晴れやかな春の気配に包まれ、多くの保護者や教職員、在校生に見守られる中、幼稚部六十名、小学部三十二名、中学部二十八名、高等部七名がそれぞれ証書を受け取り、これまでの学びと成果と成長が形となった喜びをかみしめました。

第一部の幼稚部卒園証書授与式では、皆川校長より卒園生に向けて「この一年間で学んだことを胸に、新しい毎日を歩んでほしい」と励ましの言葉が贈られました。入学式から一年を経て大きく成長した卒園生は、落ち着いた様子でお話に耳を傾けていました。また、長沼総領事からは、イタリアでのオリンピックにおいて日本の選手が「ありがとう」の気持ちを素直に伝え、それが世界の人々を幸せにしたというエピソードが紹介され、「このような日本についてもっと学んでください」と温かいメッセージが寄せられました。

第二部の小学部・中学部卒業証書授与式および高等部修了証書授与式では、皆川校長の式辞、長沼総領事の祝辞に続き、現地校と補習校の両立を乗り越えて成長した卒業生・修了生による答辞が述べられました。答辞からは、日本人としての特性を大切にしながら、日本やアメリカのみならず、国際社会にも貢献していくこととする彼らの力強い姿が伝わってきました。式の最後には、卒業生・修了生による「三月九日」の歌が、ピアノやドラマ、サクソスを含む演奏とともに披露され、会場は大きな感動に包まれました。

今回の卒園・卒業・修了は、子どもたちにとって大きな節目であると同時に、家族や教職員にとっても、これまでの成長を喜び合う特別な一日となりました。新しい環境へと進む皆さんの未来が、これからも輝かしいものであることを心より願っています。



第582回テキサス会 ゴルフ 「商工会長杯」

第五八二回テキサス会ゴルフトーナメントは「商工会長杯」として、Wind Rose Golf Clubで二月二十二日（日）に開催されました。総勢七十一名が、午前八時よりショットガンスタートで競技を開始し、当日は肌寒い気候ではありましたが、全員無事にホールアウト致しました。

ベストグロスの部では、男性一般の部では、案浦丈さんと大橋将史さんが七十九で制し、男性シニアの部では、武智真二さんと九十一、女性の部では、案浦スーザンさんと佐々木信乃さんが九十五で見事獲得されました。そして、第五八二回テキサス会ゴルフトーナメント優勝には、五味健彦さん（グロス百一、ネット七一・〇）が輝かれました。おめでとうございました！優勝者の弁では、最近お子さんが補習校で知り合ったお相手と遠距離恋愛の末にめでたくゴールされた、という嬉しいエピソードをご紹介いただきました。商工会のつながりでは、貴重な出会いも生まれますね。今回は二十七もの企業・団体・個人の皆さまから多くのご寄付を賜り、誠にありがとうございます。この場をお借りして、厚くお礼申し上げます。

また、テキサス会ゴルフトーナメントは、順位賞の他にも全参加者の中から抽選であった特別賞もご用意しています。次回も、皆様のご参加をお待ちしております！引き続きテキサス会を宜しくお願い致します。

（第五八二回テキサス会幹事会社

・ JERA Americas ・ Iwatani Corporation ・
Kureha America)



▲特別賞（Astros vs Dodgers戦チケット）を獲得された酒谷 英太郎さん（左）と商工会長の川上さん

▼優勝に輝いた五味 健彦さん



クローズ
アップ!

古本市のご報告 古本を通じたヒューストン日本人コミュニティのつながり

二月七日(土)、本年度第一回となる古本市を、三水会センターの会議室において開催しました。今回の来場者数は計二五四名、収益金は、寄付を合わせて\$673,00であったことをご報告いたします。このたびの収益金は、生活情報委員会の活動費用の他、キッズルームや図書館の新しい書籍・備品購入等に充てさせていただきます。

今回も古本市を無事開催することができ、ボランティアの皆様や、貴重な本を寄付してくださった皆様はもちろんのこと、当日ご来場くださった皆様にも、この場をお借りして心より御礼申し上げます。

次回の古本市は八月後半の開催を検討しており、その際に売り物となる本の寄付を募っております。読み終えられた本や、ご自宅の本棚に入り切らなくなった本などがございましたら、三水会センターの商工会事務局までお持ちいただけますと幸いです。



毎回古本市開催のお知らせを楽しみにしている商工会会員の福田さん。今回は午前の時間帯に、お子様のための本を探しにご来場されました。お子様が日本語能力を維持できるよう、数回でいいので読んでもらえれば、という思いで子ども用の本を購入されました。福田さんによれば、普段は仕事と家庭とで忙しく、図書館から本を借り返却することも負担になるけれども、古本市だと本の返却期限がないので、とても便利に活用させていただいています。祝日で学校が休みでも仕事をしなければいけないとき、子どもが静かに読んでくれるので、親にとっても古本には助けられています。古本市で買った本の中には、寄付したお子様のお名前やメッセージなどが記されているものも時々あり、ヒューストンの日本人コミュニティのつながりを感じます。”とのことでした。

福田さんは、海外勤務はニューヨークが一番長く、ヒューストンの前はベトナム勤務で、ヒューストンには二〇一九年に引っ越してこられたそうです。ヒューストンには、過去に大学の進学先として選ぶことを検討したことがあるけれども、社会人になってから実際に来てみると、過去にイメージしていたヒューストンとは異なり、多文化が共存する社会でありながらも、街の人々も優しく、生活面でも互いを理解しようとする心の余裕があるところが気に入って、子育ても含めて生活

しやすい、とのことでした。福田さんは、大時代バックパッカーとしてメキシコを周遊されたことがあるとのこと、次の五年でアメリカの国立公園十カ所ほどを訪れてみたい、また、子どもがもう少し成長して手が離れたら、タンザニアのザンジバル島で見たインド洋の夕焼けがよかったので、アフリカ諸国を訪れてみたい、と話してくれました。

連絡先：商工会事務局

sansuikai@bahouston.org

(文責：生活・情報委員長 根本真樹子)





第258回
ヒューストン日記
大野智子さん

ヒューストン生活で感じた 子供の成長

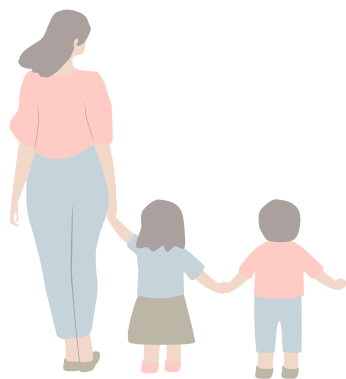
ヒューストンの生活もあと数か月で二年が経とうとしています。

最初、私一人の意見としては、親の都合で連れてこられた子どもたちに申し訳ない気持ちが大きかったです。

あの日、言葉もわからない、文化も違う、知り合いもない現地校に放り込まれた子どもたちの心情はきっと想像以上のものだったはずで。

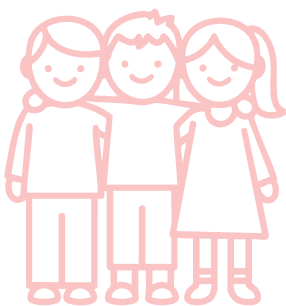
上の子は8年生、下の子は3年生からのスタートでした。今となっては思いう話ですが、新学期初日から上の子が違う学年の教室に案内されそのまま授業を受ける、下の子は必要な予防接種が足りないことがギリギリになってわかり登校が一週間

ほど遅れる、とトラブルが続きました。子どもたちも私も精神的にあまり良い状態ではありませんでした。予想はしていましたが「現



地校行きたくない」とすぐに言われてしまい「だよね」としか思えませんでした。目に涙をいっぱいためたあの時の子どもの顔は忘れられません。親として最大のフォローをしてあげたいと思っても私自身もどうしていいのかわからない、うまくいかないことが悔しかったです。

そんな不安の中、私達は周りの駐在の方々に恵まれていました。現地校のわからないことを相談に乗っていただいたり、子どもたちも日本人のお友達と話すことで駐在生活の最初をなんとか過ごすことが出来たのだと思います。



そして数か月経った頃、日本人以外のお友達の話をしてくれた時、心の底から安心しました。

駐在二年目の現在、下の子はお友達が増えたようで、現地校の話をしてもらえることが多くなりました。ケンカもしているようですが一体英語でどんな風に会話をするのか不思議です(笑)。子どもの英語を話す瞬発力や、環境に適応する柔軟さに驚いています。

上の子は、お友達と一緒に時々放課後勉強するようになりました。運転が得意ではない私はお迎えが大変ですが、学生時代のお友達と過ごす時間はとても大切だと思うので嬉しいです。

それでも、子どもたちにとって現地校生活は今もきつと大変なことには変わりはないと思います。ですが、それぞれの場所で自分で考えて行動していることを尊敬しています。

私が子どもたちの年齢で経験したことのない毎日を体験している、本当にすごいなという一言です。

そして、確実に成長している二人をとっても頼もしく感じています。





今月号は鈴木一弘生から血液腫瘍内科がご専門の山本晃先生にバトンが移りました。

第255回 Bioinformaticsという仕事

Baylor College of Medicine 山本 晃 (Postdoctoral Associate)

Baylor College of MedicineでPostdoctoral Associateとして勤務している山本です。私は昨年4月に赴任し、ちょうど1年が経ちました。この度、執筆の機会をいただきましたので、私の仕事について少しご紹介したいと思います。

バイオインフォマティクスという仕事

私たち研究者は、ある疾患について調べる際、細胞や実験動物に試薬を加えたり、さまざまな値を測定したりと、多くの実験を行います。しかし私はこういった手を動かす実験は行わず、バイオインフォマティクス (Bioinformatics) と呼ばれる研究手法を担当しています。この仕事を簡単に説明すると、膨大な生物データを統計的に整理し、意味のある形に可視化する仕事です。実はこの技術は決して研究室の中だけのものではなく、臨床現場や健康関連サービスなど、私たちの身近なところでも利用されています。

例えば、本誌でも時々取り上げられている腸内細菌の解析がその代表例です。現在では、多くの疾患と腸内細菌の関連が指摘されています。こうした関係を調べるために、特定の疾患モデルを作った実験動物の便を調べたり、実際に疾患を持つ方と健康な方の便を比較する研究が行われます。もちろん、便を機械に入れればすぐ結果が出るわけではありません。まず採取した便を試薬で処理し、検査できる形に整えた上で専用の機械にかけます。すると、そこに含まれる細菌の塩基配列、つまり遺伝子の並びが読み取られます。ここからバイオインフォマティクスの出番です。得られた塩基配列をデータベースと照合し、どの細菌なのかを特定します。そして、その細菌がどのくらい存在するのか、細菌の組み合わせに意味のある特徴があるのかを解析していきます。

これは、例えるならバラバラになったパズルを組み立てて一つの絵にする作業に似ています。ばらばらのピースを見ているだけでは何を示しているのかわかりませんが、組み立てることで全体像が見えてきます。ただし、この研究の面白いところでもあり難しいところでもあるのですが、同じピースからでも、異なる絵ができることもあります。一方は生物学的にも正しく、臨床応用などのアウトプットにも繋がるものであるのに対して、一方は生物学的には正しいもののそれ以上のメッセージ性がないもの、といったようなことがあります。ここに研究者の技量が試されます。



似た例として、遺伝子検査があります。一言で遺伝子検査といってもさまざまですが、最近では何千、あるいは何万もの遺伝子を一度に調べる事ができます。話は逸れますが、私自身、渡米前に自分の疾患リスクを知りたいと思い、口の粘膜を綿棒のようなもので採取して遺伝子検査を受けたことがあります。そこでは特定の遺伝子群を調べ、その結果と過去の研究データを組み合わせ、疾患のリスクなどを評価した結果が送られてきました。話を戻しますが、このように膨大な遺伝子情報の組み合わせを解析することも、バイオインフォマティクスの重要な役割です。技術の進歩により解析の解像度は大きく向上し、現在では一つ一つの細胞の遺伝子情報だけでなく、その細胞が組織のどこに存在していたかまで分かるようになってきました。例えば、がんのすぐ近くにいる免疫細胞と、少し離れた場所にいる免疫細胞では役割が違うのか、といったことまで調べられるようになり、病気の仕組みをより詳しく理解できるようになってきています。



AI技術との付き合い

こうした解析技術は日々進歩しており、論文を読む側としても追いつくのが大変ですが、実際に解析する立場としては、最新技術をキャッチアップし続けることはさらに大変です。ただ、幸いなことに、近年はAIによるサポートが非常に強力になってきました。以前はコードで分からないことがあれば、詳しい人に聞いたり教科書を調べたりしましたが、今ではその多くをAIが助けてくれるようになってきます。私自身も日々の仕事の中で少しずつコードを書くことに慣れてきていますが、人間の成長よりも速いスピードでAIが進歩していることを実感しています。実は私は渡米前、基礎研究と並行して医学教育の研究も行っていました。現在では少しずつ一般的になりつつありますが、AIを患者役にして医療面接の練習を行うシステムを開発しました。スマートフォンを使って文字で問診を行い、終了後には同じAIが今度は指導者としてフィードバックを行う仕組みです。渡米直前にはさらにこれを発展させ、表情や動きを再現するアバターを用いた教育システムの研究も行いました。これらの研究を通じて、まだ課題はあるものの、AIの可能性を強く感じ、多くの教育分野で補助あるいは代替手段としてAIが用いられていくのだろうと感じました。

一方で、現在私が行っているようなコードを書く仕事では、AIの便利さと同時に教育の難しさも感じています。AIを使えばコードの知識が十分でなくても、「動くプログラム」を書いてしまうため、新しく始める方にとっては基礎をじっくり学ぶ機会が減ってしまうのではないかと懸念です。もちろんこの分野においても、AIを教

育に活用することはできるでしょう。しかし、将来帰国して後輩にコードをいざ教える立場になったとき、「自分よりもAIに聞いた方が早くて正確なのではないか」と情けないことを考えてしまう自分もいます。「AIが仕事を奪う」「AIに代替されない人材になるべき」など、この分野にはいろんな方の多様な思いがよく話題となりますが、私個人はこの分野は大好きで、一日中PCとにらめっこしても飽きません。米国での在任期間中、より精進できるよう、日々仕事に励んでおります。拙い文章にお付き合いいただき、ありがとうございました。



今回は私と同じ研究室で一緒に研究をしている池田先生です。池田先生には渡米後間もない頃から生活のことや研究室でのことなど、多くのことでサポートしていただきました。現在は先生の提出されたサンプルを、私がバイオインフォマティクス解析部門を担当するなど、同じプロジェクトで働いております。

ハーマンパーク日本庭園

ハーマンパーク日本庭園のメンテナンスと改修・発展計画の概要

ヒューストンのハーマンパーク日本庭園では、開園三十周年（二〇二二年）を機に、公園全体の再開発を担う M V V A（Michael Van Valkenburgh Associates）のマスタープランに基づいた大規模な修復・改善計画が進行中です。この計画では、設計者・中島健氏のオリジナルデザインを蘇らせ、長期的に維持することを目的としています。

今年の庭園のメンテナンスから、昨年まで日本庭園のメンテナンスに招へいされていた岩崎氏に替わり、この計画に深く携わっている滋賀県大津市の造園家の辻井博行氏に依頼することになりました。



▲松を剪定する辻井氏



▲日本式の剪定を伝授



▲ツツジの剪定

辻井氏は中島健氏の下で経験を積まれた造園家であり、城郭などの石積みで名高い「穴太衆（あのをしゅう）」の系譜を継ぐ方でもありません。辻井氏とその専門チーム2名は、二月二十三日から三月四日にかけて来米し、メンテナンスの他、修復・改善箇所の調査やハーマンパーク管理団体（Hermann Park Conservancy）のスタッフへの技術指導を行いました。



▲日本庭園メンテナンスチーム

二月二十四日には辻井氏らの歓迎レセプション「Twilight in the Park」が日本庭園の一角にて開催され、辻井氏は、師である中島氏との思い出や、この計画に対する熱い思いを語っていらっしゃいました。

三月三日には、日本庭園諮問委員会（Japanese Garden Advisory Committee）の会合があり、辻井氏とその専門チームも参加されました。コーディネーターより、修復・改善を予定している箇所を尋ねられ、辻井氏は、滝や小川や池などの水循環システム、長屋門側の入り口、Fanning St側にある枯山水、そして経年劣化した茶室などを挙げられました。

つまみ細工

講師・金井田由香先生より

ご参加いただいた皆様へ
つまみ細工のやり方は、人によつてさまざまです。

今回の三水会クラブでは、私が一番作りやすいと感じている方法をご紹介しましたが、作っていくうちに、ぜひ皆さんそれぞれのやり方を見つけてくださいね。



ショーイングジャパン

晴れ着撮影会のご報告

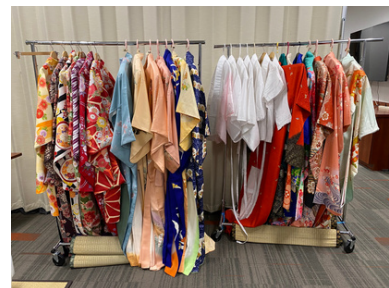
二月二十八日(土)、三水会センターにて晴れ着撮影会を開催し、十五組二十八名の方々にご参加いただきました。

卒業の記念にご友人同士で袴姿の撮影をされた方、ご家族そろって和装で参加された方、ご姉妹で振袖をお召になった方など、今回もさまざまな晴れの日のお手伝いをさせていただきます。

初めて振袖や袴に袖を通された方々は、着付けが仕上がると自然と笑顔に。鏡の前では「わあ、きれい!」といった歓声も聞こえ、会場全体が華やいだ雰囲気になりました。七五三の可愛い姿ももちろん素敵ですが、卒業や成人の節目に見る振袖や袴姿はまた格別です。晴れ着に身を包んだ瞬間に立ち会い、その感動を共有できることは、私たちメンバーにとって何よりの喜びです。



Showing Japanでは、成人式・卒業シーズンの二月頃と、七五三の時期の年二回、撮影会を行っています。メンバーは帰国などで入れ替わりもありますが、着付けの先生を中心に、初心者も学びながら和気あいあいと活動しています。私自身もまだまだ勉強中ですが、毎回着物の奥深さや日本文化の美しさを改めて感じています。また、ヘアセットを担当しているスタイリストは長年撮影会に関わっており、日本髪をはじめ着物に合うヘアスタイルで毎回皆さまにご好評をいただいております。



三水会 クラブ

今回ご参加くださった皆さま、本当にありがとうございます。大切な晴れの日のお思い出づくりに、少しでもお力添えができておりましたら幸いです。
そして、Showing Japanのこれらの活動はボランティアメンバーの協力によって支えられています。着物や日本文化にご興味のある方、地域活動に参加してみたいとお考えの方、ぜひお気軽にお声がけください。また次回の撮影会にて皆さまにお会いできることを、メンバー一同楽しみにしております。



Showing Japan ホームページ・インスタグラム ★メンバーは随時、募集中です!

■Apr. 18

San Jacinto Day Celebration 2026@ San Jacinto Battle Ground

サム・ヒューストン将軍が率いるテキサス軍がメキシコを破ったサンジャシントの戦いから190年。サンジャシント戦場州立史跡には記念塔やミュージアム展示があり、戦いの模様の再現、レクチャーやキッズアクティビティーなどの記念イベントが企画されています。

■Apr. 25

Hope Farms Earth Day Festival@ Hope Farms

アースデーにちなんで都市農園Hope Farmsでは、健康的な食と地球をテーマにしたイベントを開催。料理デモンストレーション、ガーデニング、農場散策、植樹や土壌づくりの体験、クラフト&ゲームがあり、新鮮な野菜や果物の販売も行われます。

■May. 2

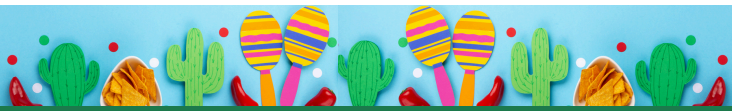
Energyfest 2026@ Addicks Park & Ride, Energy Corridor

エネルギー関連の企業が集まるエナジーコリドーにて、スプリングフェスティバルが開かれます。ロッククライミング、フェイスパイントなどのアクティビティ、生演奏のステージなどがあり、参加無料でウェブサイトからRSVPしてください。

■May. 16

Adaption Day @POST

アニマルシェルターBARCによる里親探しイベントで、人生の伴侶となるペットを見つけてみませんか。譲渡にはワクチンや去勢・避妊手術やマイクロチップ装着、市への登録手続きなどが含まれています。参加はウェブサイトから申し込みを。



■May. 3

Cinco de Mayo@ Trader's Village

スペイン語で「5月5日」を意味するシンコデマヨ。今年は移民をめぐる情勢により恒例のパレードはキャンセル。こちらの屋外マーケットで行われるフェスティバルでは、メキシコ音楽やダンスパフォーマンス、タコスなどの伝統食を楽しめます。

■May. 9

HIROMI'S SONICWONDER @ Jones' Hall

ジャズピアニスト上原ひろみがジョーンズホールで演奏します。4人で構成されるジャズバンドSonicwaterによる、クラシックなジャズロック・フュージョンに、ファンクとポップスを融合したダイナミックなライブ、どうぞご期待ください。

■May. 4-6

LA Dodgers vs Astros @ Daikin Park

今年のMLBリーグ交流戦（インターリーグ）、LAドジャースとアストロズの対戦が観戦できるのはこちらの日程です！

■May. 22-24

ComicPalooza@George Brown Convention Center

コミックパルーザはコスプレ大会、ゲームトーナメント、J-PopやK-Popステージ、声優サイン会やレアアイテムの販売などが行われるテキサス最大級のポップカルチャーイベント。アニメや漫画、ゲームファンが集結します！

※内容は記事執筆時点の情報に基づいています。変更になる場合もありますので、お出かけ前に各自で最新の情報を主催者サイト等でご確認ください。(ファーガソンステガー 佐野仁美)

編集後記

つい先日新しい年を迎えたばかりのように感じていましたが、気がつけばもう4月となり、改めて時の流れの速さを痛感しています。4月は新たな出会いと別れの季節でもあります。私自身も4年間の駐在期間を終え、3月末をもって日本に帰国することとなりました。2023年10月から副編集委員長としてガルフストリームの発行に携わってまいりましたが、その役目も卒業となります。ガルフストリームは昨年五十周年を迎えましたが、これだけ長きにわたって刊行され続け、今なお毎月発行されているのは、その時々の記事をご寄稿くださる皆さまはもちろんのこと、編集長をはじめ、事務局やボランティアの方々の献身的な支えがあってこそです。この場をお借りして、心より感謝申し上げます。

ガルフストリームは必ずしもすべての方に読まれているわけではありませんが、毎号丁寧に目を通してくださる熱心な読者の方もいれば、関心のある記事を中心に読んでくださる方もいらっしゃいます。どのような形であれ、ガルフストリームに触れてくださる読者の皆さまに、毎月新鮮な記事をお届けするという使命感を胸に、編集委員の皆さんと力を合わせて取り組んできた日々を懐かしく思います。

このたびヒューストンを離れることになりましたが、これからは一読者としてガルフストリームの発行を楽しみにしていきたいと思えます。

(副編集委員長 竹原 優)

ガルフストリームは毎月15日発行です。

編集委員および投稿募集中！

問い合わせ先： sansuikai@bahouston.org

ガルフストリームは、ホームページでも閲覧可能です。

<https://www.jbahoustongulfstream.com/>発行：ヒューストン日本商工会
発行責任者：遠藤 宏治編集委員長：伊藤 義治
構成・編集：ガルフストリーム編集委員一同

免責事項

掲載情報の正確性・安全性は保証しません。内容は更新等により変更・陳腐化する場合があります。掲載内容およびリンク先の利用に伴う損害について、当会は一切責任を負いません。リンク先は各運営者の責任であり、利用は自己責任でお願いします。

著作権等

本ニュースレターおよび記事の知的財産権は、ヒューストン日本商工会（JBAH）または各執筆者に帰属します。権利者の書面許諾なく複製・配布・送信等を禁じます。許諾は JBAH info@bahouston.org までご連絡ください。© 2025 Japan Business Association of Houston. All rights reserved.